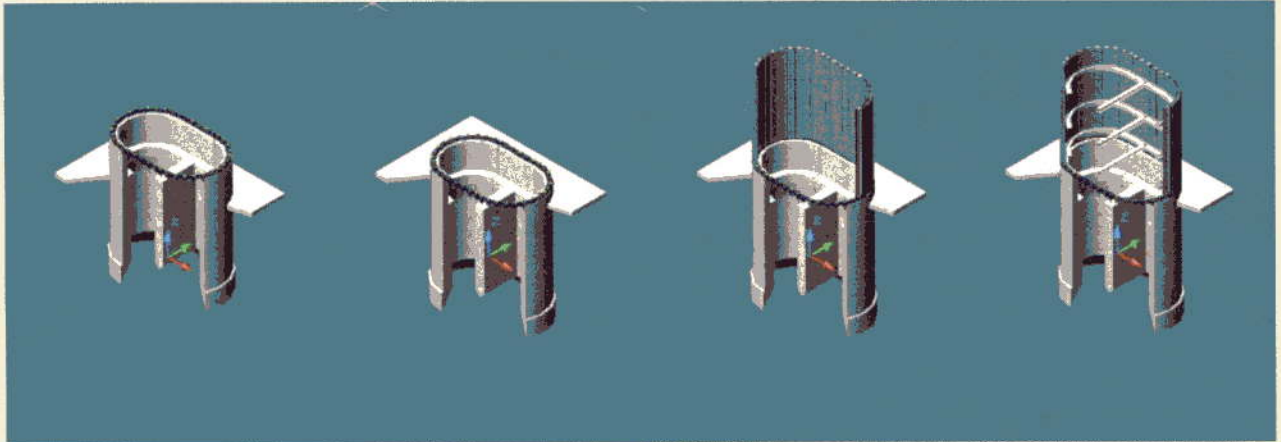


1. 接続治具設置

2. 躯体最終沈下

3. 止水壁矢板建込

4. 支保工設置



●通常のオープンケーソンと同様に躯体構築と沈下工程を繰り返した後に、ケーソン天端に接続治具をセットしバレットコンクリートを打設します

●ケーソン躯体最終ロッドの沈下を行います

●NS-BOX(BX)をケーソン躯体天端の接続治具に嵌合し、接続治具と止水壁天をタイロッドで緊結し止水壁を固定します

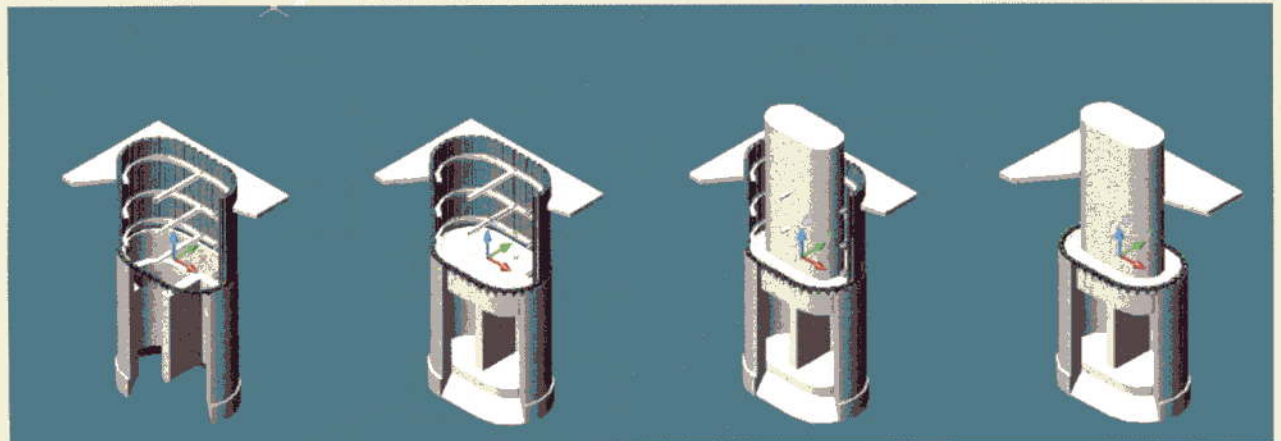
●NS-BOX(BX)は高耐力高剛性を有しますので、支保工の段数を少なくすることができます。円形の場合は支保工を省略することが可能です

5. ケーソン沈下

6. 底版・頂版打設

7. 脚柱施工・埋戻

8. 止水壁矢板引抜



●通常のオープンケーソンと同様に掘削・沈下を行います

●沈下完了後、底版及び頂版コンクリートを打設します。頂版コンクリート硬化後は最下段切梁の撤去が可能です

●橋脚シャフト部の施工を行った後、支保工を撤去しながら止水壁とシャフトの埋め戻しを行います

●緊結用のタイロッドを撤去した後、パイロハンマーを使用してNS-BOX(BX)を引抜き、止水壁を完全撤去します

施工状況



止水壁建込み



NS-BOX (BX)

